

各 位

2024年7月16日  
SBI デジトラスト株式会社

**新たな認証認可基盤サービス Trust Idiom/Biz**  
**福島銀行の法人向けインターネットバンキングサービスにて提供開始**

SBIデジトラスト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：バスケス・カオ・フェルナンド・ルイス、以下「当社」）は、認証認可基盤サービス「Trust Idiom®（トラストイディオム）」の新たなラインナップである「Trust Idiom/Biz（トラストイディオム・ビズ）」を、株式会社SBI地方創生バンキングシステム（本社：東京都港区、代表取締役：森田 俊平、以下「SBI地方創生バンキングシステム」）と共同開発し、SBI地方創生バンキングシステムが開発する地域金融機関向けのクラウドベースの勘定系システム（以下、「次世代バンキングシステム」）の法人向けインターネットバンキングシステムに導入し、本日、株式会社福島銀行（本店：福島県福島市、取締役社長：加藤 容啓、以下「福島銀行」）にてサービスが開始されたことを発表いたします。



## ■ Trust Idiom/Biz 共同開発の背景

インターネットバンキングの不正送金被害（フィッシング）増加を背景に、各金融機関においては高度なセキュリティ対策と利便性の両立が求められています。現況に鑑み、SBI地方創生バンキングシステムは次世代バンキングシステムにおいて高度なセキュリティ指針を策定しました。

当社は、上記指針を満たすべく、OpenIDのFAPI(※1)、FIDO(※2)、eKYC(※3)の3つを盛り込んだ当社ソリューションであるTrust Idiom/IDの知見を活かし、法人向けインターネットバンキングシステムに活用できる新たな認証認可システムである「Trust Idiom/Biz」をSBI地方創生バンキングシステムと共同開発し、サービスリリースする運びとなりました。

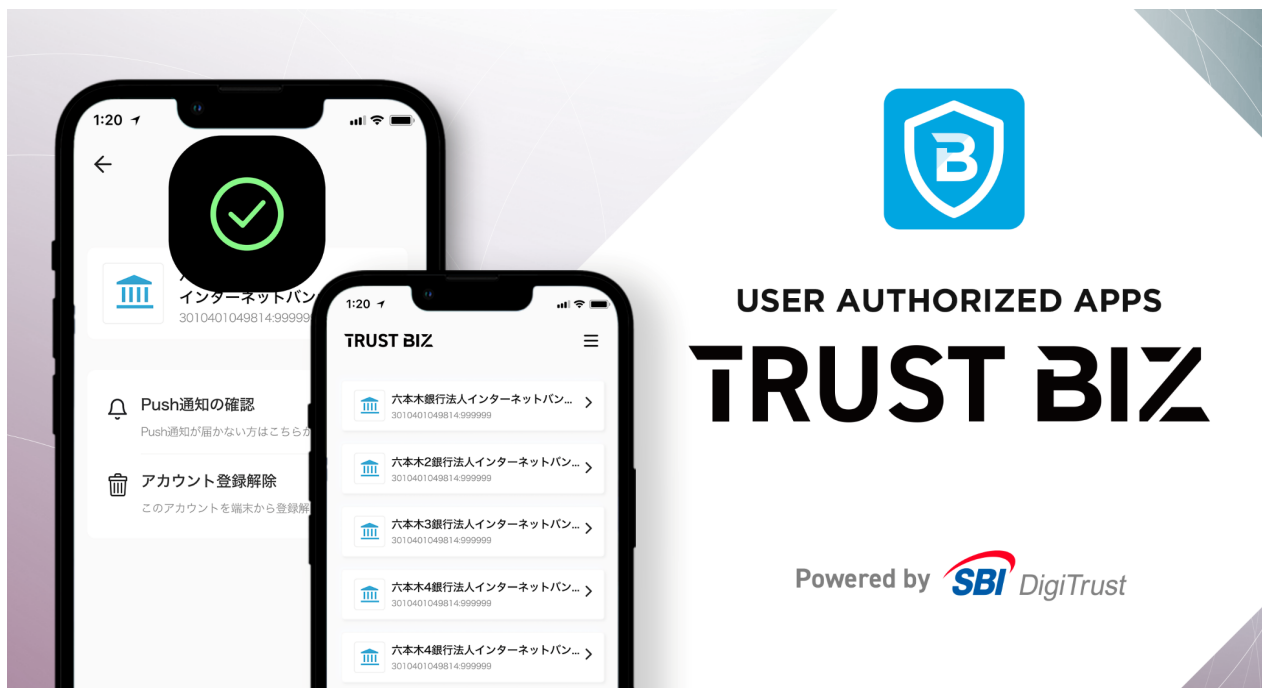
## ■ Trust Idiom® シリーズについて

### Trust Idiom/ID:

・eKYCによる厳格な身元確認と、FIDO認証による本人認証により、個人のお客様の同一性の担保を実現する認証認可サービスです。次世代バンキングシステムの個人インターネットバンキングサービスにおいても採用され、福島銀行への導入が同様に行われています。

### Trust Idiom/Biz:

・FIDO2、WebAuthnなどのFIDO認証に対応し、様々なケースで利用可能な認証認可システムです。専用アプリ Trust BizによるFIDO-UAFにも対応し、幅広いユースケースを想定した利用を可能としています。



The advertisement features two smartphones. The background phone shows a notification for 'インターネットバンキング' (Internet Banking) with a green checkmark icon. The foreground phone displays the 'TRUST BIZ' app interface, listing several accounts for '六本木銀行' (Roppongi Bank) with their respective IDs. To the right, there is a blue shield icon with a white 'B' inside. Below the icon, the text reads 'USER AUTHORIZED APPS' and 'TRUST BIZ' in large, bold letters. At the bottom right, it says 'Powered by SBI DigiTrust'.

## ■ 法人向けインターネットバンキングへの Trust Idiom/Biz 導入の背景

従来の法人向けインターネットバンキングでは、セキュリティ対策としてクライアント証明書やIPアドレス制限が用いられてきました。こうした制御は、特定の環境でのみ利用可能となるなど、場所を固定させることでセキュリティを担保する一方、利便性に課題がありました。昨今の働き方改革やリモートワークの普及により、場所にとらわれないセキュアなアクセス環境が求められています。Trust Idiom/Bizは、最新の認証技術を採用することで、従来の物理的な制限にとらわれず、セキュリティレベルを維持しながら、場所を選ばない利便性の高いアクセスを実現します。

### ※1 FIDO (Fast IDentity Online)

Webサービスにログインする際の認証方式のひとつ。公開鍵と暗号鍵を用いた認証方式で、スマートフォンなどの端末の生体認証で秘密鍵を取得し、Webサービスなどのログインに活用します。これにより、堅牢性と利便性の両面からユーザメリットを生むことができます。

### ※2 FAPI

ユーザの認証や認可をセキュアに行うためのオープンスタンダードであるOAuth/OIDC を拡張し、APIアクセスに必要な情報（アクセストークン）の不正取得・利用を防止するための仕組みなどを定めた仕様です。金融業界などのより高度なセキュリティが求められる分野での適用が想定されています。銀行のオープンAPI化において、口座情報・取引履歴の参照や、送金・決済など、Fintech事業者をはじめとするサードパーティーを介した金融サービスの提供のセキュリティ向上に有用です。

### ※3 eKYC(electronic Know Your Customer: 電子本人確認)

金融機関の口座開設やクレジットカード発行時の身元確認を、スマートフォンなどの端末を用いて、オンラインで実施するスキームのことです。

## ■ SBI デジトラストについて

SBI デジトラストは、SBI セキュリティ・ソリューションズと NEC との間で設立した合弁会社です。我々は、FATF が提唱する AML/CFT の高度化や本人確認(KYC)、次世代認証等の金融機関等向けソリューション事業の展開をミッションとしています。グローバルにおけるサイバーセキュリティ対策を金融機関に提供し、金融サービスの高度化に寄与しています。 <https://sbidigitrust.com>

今後も、当社は金融機関の皆様のサポーターとして「グローバル金融市場とのセキュリティレベル均質化」という奔流にも適応可能な体制づくりを強力に後ろ支えする様々なソリューションを市場に発信、提供していくことをミッションに掲げてまいります。

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI デジトラスト株式会社 [info@sbidigitrust.com](mailto:info@sbidigitrust.com) (富永・小浜)